

京都ポルタ、衣料品の資源循環に関する啓発イベント
「私たちの SDGs ～古都からはじめる衣類の循環～」を開催

JR 西日本京都 SC 開発株式会社（代表取締役社長 森本 卓壽、以下「京都 SC 開発」）は、一般社団法人日本繊維機械学会繊維リサイクル技術研究会エンウィクル 私たちの SDGs 実行委員会（委員長 宮原佑貴子、以下「エンウィクル」）と連携し、京都ポルタにて衣料品の資源循環に関する啓発イベント「私たちの SDGs ～古都からはじめる衣類の循環～」を開催します。

本イベントでは、衣料品回収ボックスの設置をはじめ、アップサイクルワークショップや体験型企画を実施します。お客様に楽しみながら衣料品の資源循環について学んでいただくとともに、「捨てる」以外の選択肢を提案し、持続可能な社会の実現に向けた意識醸成を図ります。

京都には、「しまつの心」に象徴されるように、ものを大切に使い続ける価値観が根付いています。本イベントでは、その考え方を現代の資源循環へとつなげる取り組みとして、「古都からはじめる衣類の循環」をテーマに掲げました。衣料品の回収やアップサイクル体験を通じて資源循環への理解を深めていただくとともに、京都ポルタと地域の大学・研究機関等が連携することで、京都ならではの資源循環の取り組みへと発展していくことを目指します。



■開催概要

- 日時：2026 年 8 月 1 日（土）～8 月 2 日（日）11 時 00 分～20 時 00 分
※子ども親子ワークショップコーナーと子ども向け縁日コーナーは、各日 2 部制。
[第 1 部] 11 時 00 分～14 時 00 分、[第 2 部] 15 時 00 分～18 時 00 分
- 会場：京都ポルタ (B1F) 西エリア 北通りイベントスペース
- 主催：京都ポルタ、エンウィクル
- 後援：京都市、京都市教育委員会、京都市ごみ減量推進会議（（公財）京都市環境保全活動推進協会）、（一社）Textile Circular Network、（一社）Textile Upcycle Platform、NPO 法人未利用資源事業化研究会、株式会社 colourloop、カトーテック株式会社、株式会社京都紋付、西日本旅客鉄道株式会社、有限会社村田堂、株式会社ワコール

5. 内容

(1) 衣料品回収ボックスの設置

着なくなった衣料品に「捨てる」以外の選択肢を提案する本取り組みは、環境に配慮した行動への第一歩を促すことを目指しています。

回収した衣料品はエンウィクルへ引き渡し、回収品目や数量等のデータを研究活動に役立てるほか、リユース・リサイクル・アップサイクルを通じて新たな価値を創出し、衣料品の資源循環の実現につなげます。

(2) 子ども親子ワークショップコーナー

①衣料デコアップサイクル

参加者がお持ちいただいた衣料品を素材として活用し、ボタンや端材などを使用しながら自由に装飾・アレンジを楽しむアップサイクルワークショップです。衣料品に新たな価値を加え、長く大切に使い続けるきっかけを提供します。

②オリジナルうちわ作り

回収された衣料品から生まれた素材や布端材を使って、世界にひとつだけのオリジナルうちわを作ります。親子で楽しみながら、衣料品を捨てるだけではない資源循環の取り組みを学べる体験型ワークショップです。

(3) 子ども向け縁日コーナー

京都女子大学の学生グループ「KUM0」による、衣料品の資源循環を楽しく学べる参加型コンテンツです。不要になった衣料品を活用して制作したりメイクキーホルダーを、縁日の魚釣りゲームのように釣り上げてお楽しみいただけます。遊びを通じて、衣料品を捨てるだけではない新たな活用方法や資源循環の大切さに触れていただくことを目的としています。

<エンウィクル>

エンウィクルは一般社団法人日本繊維機械学会 繊維リサイクル技術研究会(委員長 木村照夫)の下で活動する学生主体のプロジェクトチームです。衣料品や繊維廃材のアップサイクル、衣料品回収イベントの企画・運営、普及啓発活動を通じて、衣料品の資源循環の実現に取り組んでいます。

URL : <https://tmsj.or.jp/en-we-cle/>

<JR 西日本京都 SC 開発株式会社>

京都駅直結の商業施設「京都ポルタ」では、ショッピングやグルメが楽しめるお店が 210 店舗揃います。京都でのお買い物やランチ、ディナー、お土産探しをお楽しみください。

URL : <https://www.porta.co.jp/>